

Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

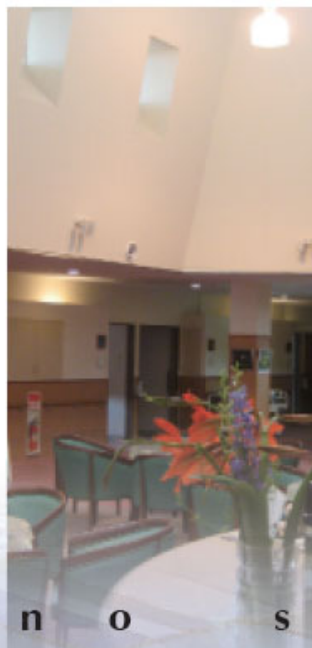
インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2008.
Summer

Vol.3



M i y u k i n o s a t o



●特集

心身両面から患者様を支え、
その人らしい人生を尊重する緩和ケア

- ウェルネススクエア和楽5周年記念市民講座
- 地域のドクターからのメッセージ ●和楽ってこんなところ!
- 今後の行事予定 ●ニュースリリース ●担当医表

ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長

富島 三貴

Miki Tomishima

御幸病院広報誌「インターフェイス」第3号をお届けいたします。今回は御幸病院の緩和ケア病棟をご紹介します。当院が緩和ケア病棟を開設して、今年でちょうど5年になります。その間多くの患者様、ご家族様にご利用いただきました。連携していただいている医療機関の皆様、また多くのボランティアの皆様にも今日まで支えていただきましたこと職員一同、心より感謝申し上げます。また、ウェルネススクエア和楽も今年で5周年を迎え、それを記念したイベントを多く予定しております。先日は新しく御幸病院のスタッフとなった、岩重健一医師による講演を行ないました。今後もウェルネススクエア和楽を中心として、疾病予防や健康増進に役立つ食や運動、健康講座などを提案させていただきたいと考えております。



みゆきの里グループ

- ◆軽費老人ホーム 富貴苑
- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

心身両面から患者様を支え、 その人らしい人生を尊重する緩和ケア

患者様を取り巻く人々と 環境もサポート

「あなたらしさをささえ、あなたとの出会いに感謝し、ともに信頼とやすらぎをみつけます」そんな理念のもとに運営されている御幸病院の緩和ケア病棟。どんな状況でも人として、家族と一緒にその人らしい人生を送ってほしいと、ご家族と患者様を心身ともにサポートする施設やスタッフが揃っています。

緩和ケア病棟は全個室の20床。2名のドクターと18名の看護師、介護士などが、それぞれの職域を越えて連携するチーム医療で、常に複数のスタッフが患者様お一人おひとりのケアにあたっています。他にも12名ほどのホスピス・ボランティアが交代で来院し、緩和ケア病棟の患者様にお茶やコーヒーを無料でご利用いただける喫茶の運営、買物の代行、病棟にたくさん飾られた美しい花々の手入れや散歩のお手伝いなどを行っています。

心が安らぐことで 身体の痛みも和らげる

緩和ケア病棟に入院される患者様は、癌などで痛みをはじめとする諸症状で苦しんでおられる方たちです。「ベッドで寝ている患者さんは、私たちよりもずっと音や光に敏感なんです。絨毯の床は足音が響きにくいように、暖色のライトや間接照明で光



緩和ケア病棟医長の磯貝医師と福原看護師長

の刺激が少ないようにと配慮しています。できる限り静かな環境を提供して、リラックスして過ごしていただきたいですから」と語るのは南1病棟の福原看護師長。吹き抜けが心地よいロビーには優しい音楽が流れ、アロマの香りが漂います。月に2回のリフレクソロジー（足裏マッサージ）や、好みの精油による芳香浴なども積極的に取り入れています。

南に面した陽あたりの良いサンルームは、ゆったりとソファで寛げる空間です。患者様の絵画や書などの作品が、まるでギャラリーのように壁を飾ります。緩和ケア病棟では夏祭りや秋の文化祭、クリスマス会といった季節を感じる行事や、ダンス

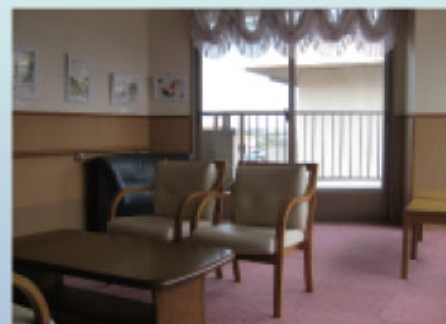
M i y u k i n o s a t o



吹き抜けが心地よい緩和ケア病棟のロビー



ロビーに設置され良い香りを漂わせるアロマポット



患者様の絵画や書が飾られるサンルーム

やミニコンサート、犬や猫とふれあえる動物介在活動などを主催し、患者様やご家族に癒しとコミュニケーションの場を提供しています。

密接な関係から生まれる信頼と共感が大切

「緩和ケア病棟では、スタッフと患者様の距離が通常の病棟よりさらに近いんです。お菓ひとつにしても、使うタイミングから飲むときのお声がけまで、常に密なコミュニケーションを心がけています。情報や気持ちをご家族と共有することを、とても大切にしているんです」とホスピス医長の磯貝医師。患者様と同じように病気と向き合う、そんなご家族へのメンタル面でのサポートも、緩和ケア病棟の大きな特徴です。家庭と同じ食事ができるようにと、冷蔵庫や電子レンジを備えたミニキッチンも完備。ご家族のための宿泊スペースや、気持ちを落ち着かせるための「癒しの部屋」なども設置しています。

またご家族や大切な人を見送られた遺族の方々には、お手紙でその後の様子をうかがったり、年に1回ホスピスにお招きし「遺族会」を開催。治療やケアに携わったすべてのスタッフや、ご家族みんなで思い出話を花を咲かせ、気持ちを分かち合うことでご家族のメンタルケアを行っています。

輝ける時間と命の尊厳を大切にしたいトータルケアを

「生きるということがいかに大切か。医療の現場では、“死”は負のものとしてだけ捉えられがちですが、人として生まれた以上、いつかは迎えるその時のことをきちんと考えて欲しいんです。限りある命だからこそ、これからの時間が輝く。健康な方にもぜひ死生観として命の尊厳を考えて欲しい」と命の大切さを語る磯貝医師。その言葉には、最後までその人らしく生きることを選んだ患者様たちの、大切な命と常に向き合う医師だからこそ言える、医療人としての揺るぎない信念と

ご挨拶 ホスピスからの 御幸病院



御幸病院ホスピス 磯貝 雅裕 Masahiro Isogai

おかげさまで御幸病院ホスピスは開設6年目を迎えることができました。

ひとえに地域の方々、ご利用いただく方々に支えられての数年間だったと感謝いたしております。ホスピスは主にガンの進行に伴う諸症状をできるだけ緩和し、限りある生を有意義に過ごしていただけるようにと設立されたものです。

ガンに伴う辛さは身体的な痛みやきつさだけでなく、怒りや怖さ、さらには自分の存在が消え去る様な何とも言えない感覚にさいなまれることがあります。

このようなさまざまな痛みから少しでも解放されます様に、人の命と正面から向き合い、ご自身、ご家族を中心として色々な職種のチームと一緒に考え悩みながら成長できる場であれと願っております。

御幸病院では統合医療の概念を取り入れつつ、全人的なケアが提供できますように努めています。

これからも御幸病院ホスピスを宜しく願っています。

重みにあふれています。

「身体・心・社会・魂の癒し」をモットーとする御幸病院の緩和ケアが目指すのは、患者様はもちろん、患者様を取り巻くすべての人々と環境を含めたトータルサポート。かけがえのない命の輝きを大切に、これからも患者様の心身を支える緩和ケアに取り組んでいきます。



喫茶コーナーではお茶やコーヒーが楽しめる



廊下は休憩をしながら歩けるように工夫がされている



ホスピス担当の鈴木医師(左)と磯貝ホスピス医長

ウェルネススクエア和楽 5周年記念市民講座

5月24日(土)、ウェルネススクエア和楽3階研修室にて、御幸病院の岩重健一医師による講演「病気の予防と健康増進に役立つ“音響療法”」が開催されました。この講演は、「ウェルネススクエア和楽5周年記念市民講座」の、記念すべき第1回講演となります。開設5周年を迎えるウェルネススクエア和楽では、今後様々な記念行事が開催される予定であり、今回の市民講座もその一環です。

講演は当日午後2時に始まり、一般参加の皆さんに加え、みゆきの里各施設の入居者の方々や職員など、100名以上が集まり会場は満員となりました。今回の講演のテーマは「温泉学」ということで、天然温泉を有するウェルネススクエア和楽での講座に相応しい内容でした。



岩重医師の講演は、その「音響療法」の簡単な説明から始まり、音と振動が人体に与える影響や、音響療法と入浴の相乗効果、様々な医療機関での音響療法の利用について、さらにはこの宇宙の成り立ちに音響が与えた影響など、非常に多岐にわ

たりました。お話を聞きに集まった皆さんも大変興味深い様子で聞き入っておられました。

ウェルネススクエア和楽の市民講座は、この岩重医師の第1回講演を皮切りに、全5回の講演を予定しています。参加は全て無料です。



地域のドクターからの Message

メッセージ

ここに至り思無邪



ふじの医院

藤野 昇先生

みゆきの里は、一般診療から高齢者のための医療、介護などいろいろな施設が充実しており、近隣の当院にとってなくてはならない総合医療施設です。近くの方や高齢者の方なども、良く利用されています。介護保険を利用したりハビリもですが、筋力トレーニングが必要な生活機能の低下した方の指導に、私も患者さんによく勧めています。ホスピスも充実していて、数人の患者さんがお世話になりました。皆さん、最後まで見ていただき感謝されておられます。なかでも、最も連携を取っているのは、訪問看護の看護師さんたちです。在宅看護の患者さんのため、毎日連絡を取らない日はないくらいです。今後もよろしく願い致します。

さて私事ですが、勤務医時代と違って、休日に体力維持のために中央町にある石段登りを始めました。釈迦院の参道の石段は3333段あります。月に1~2回土曜日か日曜日に出かけ、もう50回位になります。正月は元旦か2日に雪の中の石段です。頂上

の景色は最高にきれいです。3月はシャクナゲ、4月、5月は爽やかな汗をかけます。7月、8月は厚くて熱中症になりますので、涼しいときだけにしています。11月は気温もちょうど良く、紅葉も楽しめますので家族連れが多いです。その石段登りは苦しさの連続で、まるで人生の縮図のようです。疲労で休憩し、弱気になったり、逆に、急いで前方の人を追い越そうと頑張ったりなど毎回いろいろあります。でも、すれ違う皆さんと交わす挨拶で元気をもらい、孤独さを癒すこともあります。汗をかき、余分な水分、余計な考えを完全に捨て、最後まで登る達成感を味わうと、心も体もスッキリします。時間があるときは、佐俣の湯でもう一度さっぱりとします。

頂上にある石碑の言葉 「ここに至り思無邪」
何事も最後はこうありたいと思っています。

補注) 「思無邪(おもいよこしまなし)」
四書五経の一つ、詩経に出てくる言葉。藤原実朝が島津重豪の座
右の路であり、小泉元首相が韓国を訪問した際、西大門独立公
園・歴史展示館で記帳した時に書いた言葉として有名。

ふじの医院

〒862-0969

熊本市良町1-6-36

TEL096-214-8990

特集

和楽

WAKARAKU

ウェルネススクエア

って

こんなところ! Vol.3



●ウェルネススクエア和楽 5周年記念事業開催中!



おかげさまで、老人福祉・健康増進センター ウェルネススクエア和楽は7月に5周年を迎えます。

4月より5周年記念事業を開催中ですので、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

◆ウェルネススクエア和楽 5周年記念式典開催(7月1日)

◆市民講座(5回シリーズ)

テーマ《温泉学》《養生学》《運動学》 ※参加料無料

- 第1回「病気の予防と健康増進に役立つ“音響療法”」(5月24日)
- 第2回「陰陽五行」(7月1日)
- 第3回「不養生学」(7月10日)
- 第4回「身体活動(運動)と健康な生活」(7月26日)
- 第5回「長寿の医学」～心と身体の両面から～(9月27日)

※5月24日に開催された記念講演は来場者で会場は一杯となり、大盛況でした。

◆食育講座(4回シリーズ)

- 第1回 “子育てママの食育セミナー”
:見直しませんか、子供の食事”(4月19日)
- 第2回 “命を豊かにする食事法”(5月17日)
- 第3回 “マクロビオティックなスイーツ”
:身体にやさしいお菓子から学ぶ健康法”(6月21日)
- 第4回 “オーガニックと野菜スープ”(7月19日)

おかげさまで和楽は5周年を迎えました。

◆公開講座(親子料理教室)

- “親子でつくる玄米ご飯とみそ汁”

◆音楽コンサート(2回シリーズ)

- 第1回 重松社一郎 ピアノ・ソロ・コンサート(8月30日)
- 第2回 岡林立哉 馬頭琴コンサート(9月20日)

◆スピリチュアル講座(3回シリーズ)

(5月31日・8月30日・11月15日)

◆温泉入浴講座

「温泉利用プログラム型健康増進施設」としてのアドバース
(※厚生労働大臣認定:
20年1月23日付)



●シニアコース開講!

ご要望の多かった、60歳以上の方を対象とした<シニアコース>(3ヶ月)を新たに開講しました。これまでの<女性専科ヘルスビューティーコース>・<誰でも挑戦 アクティブコース>に加えて、より多くの方々にご参加いただけるようになりました。

●「第3回 健康づくりできます店スタンプラリー」 において、“お客様ご利用第3位”!



健康かもと21推進市民会議主催のもと開催されました、「第3回 健康づくりできます店スタンプラリー」において、“お客様ご利用第3位”に輝きました。



「身土不二」「一物全体」「主体は穀物」を基本コンセプトに、今話題のマクロビオティック(玄米菜食)を推奨提供する“田園キッチン”の定番メニューのレシピを公開! (vol.2)

“豆腐のクリーム”

- 材料 4人前
- 絹ごし豆腐 1丁
 - 練り胡麻 大さじ2
 - 自然塩 少々
 - メープルシロップ 大さじ1
 - 蜂蜜 大さじ1
 - バニラエッセンス 1滴

豆腐は、茹でて布巾で包み30分程水切りをする。全ての材料をボウルに入れ、ホイッパーでクリーム状になるまで混ぜる。甘味は好みで調節します。

黒糖蒸しパンにかけたり、きな粉・黒糖をふりかけたり、フルーツと混ぜたりいろいろと楽しめます。

■ 今後の行事予定 Event schedule

- 7月1日 ウェルネススクエア和楽 5周年記念式典
- 8月7日 夏祭り



■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	吉田	川野 長尾	吉田	担当医
午後	岩重	牛島 長尾	高野	牛島 長尾 廣瀬	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週月・水・金の午前・午後
毎週木の午後 第2・第4火・土の午前

長尾名誉院長	外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。
吉田院長 津出診療部長 川野内科医長 牛島医師 高野医師 岩重医師	内科を中心として、種々の診療を担当します。
磯貝ホスピス医長	緩和ケア病棟の入院面談を随時受け付けます。
鈴木医師	予約制。
廣瀬医師	整形外科を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。

- リハビリテーションの担当医:川野、吉田、津出
- 緩和ケア病棟への入院相談 月・火・水・金 ①14:00 ②15:30(要予約)
相談窓口:医療介護相談室

■ ニュースリリース News release

北2病棟が、介護療養型から医療療養型へ転換

平成20年4月1日より、御幸病院北2病棟(45床)が介護療養型から医療療養型へと転換いたしました。これまでは介護保険ご利用で長期療養の患者様が対象となっていました。今後は医療保険ご利用で療養目的の患者様が対象となります。ご利用に関する詳細は、医療介護相談室もしくは医事課までお尋ねください [(代表)096-378-1166]



『インターフェイス』をホームページに掲載

御幸病院を含むみゆきの里のホームページに、『インターフェイス』のバックナンバーを掲載し、より多くの方々にも目を通していただけるようになりました。

詳細はみゆきの里のホームページでご確認ください。

http://www.miyukinosato.or.jp/shisetsu/miyuki_b/interface.html



私たちは、地域の人々、利用者をご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・呼吸器科・消化器科・循環器科
小児科・歯科・リハビリテーション科
麻酔科(ペインクリニック)[医師:岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟:20床
- 一般病棟:30床
- 回復期リハビリテーション病棟:40床
- 介護型病床(医療):45床(介護):51床
- 併設:訪問看護ステーション「みゆきの里」

奥付

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸笛田6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.miyukinosato.or.jp/>